

みえ高校生県議会 質問と答弁の概要 (令和6年8月21日)

学校名 質問項目	質問の概要	答弁の概要	答弁者
<p>名張高等学校</p> <p>『A I の活用で「質の高い教育」を』</p>	<p>変わりゆく社会の中で海外の人と交流する機会がより一層増えると思い、もっと外国の人と会話できる英語力がほしい。しかし、英語を話すことに大きな壁を感じており、今の英語力に不安を感じている。英語力が高いという調査結果のある福井県とさいたま市の学習状況を調べると、英語を長く話すことが、学力の向上に繋がっていると考えられる。</p> <p>近年、教員の働き方改革や教員不足が社会問題として深刻化しており、「もっと学びを深めたい」、「教員に質問したい」と思っても、多忙な教師の姿を見て、言い出しづらい。教員に何かをして欲しいという受け身の姿勢ではなく、自らが行動する主体的な姿勢として、A Iにより対話できる英語学習アプリを有効活用できる方法はないかと考えた。A Iを効果的に活用すれば、英語のアウトプットを増やすことができ、英語力の向上に繋がると思う。</p> <p>三重県の高校生は、1人1台端末を持っているが、危険なサイトを開けたり、ウイルスに感染したりしないようにするため、教育委員会が制限をかけている。しかし、<u>この制限があると、A Iを使った英語学習アプリをうまく活用できないため、1人1台端末の利用制限について見直してほしい。</u></p> <p><u>また、アプリを利用する為に必要なお金を県が負担するか、お金がかからないA Iとの会話サービスを三重県や国が開発することはできないか。</u></p>	<p>1人1台端末の利用制限については、各学校の判断で変更することが可能となっており、セキュリティの問題などがあるが、生徒会にかけ合い、そして学校側とよく相談されてみてはどうか。</p> <p>また、県では、学校教育における生成A Iを効果的に活用するため、今年度は、県内の中学校や高校でモデル校を指定して、生成A Iの利活用に係る実証研究事業を実施する予定であると聞いている。この事業で、生成A Iの仕組みや利便性、リスク、使い方などを教員や生徒が学び、各教科等の学びにおいて生成A Iを積極的に活用できるよう検討していく。</p> <p>A Iを使ったアプリについては、著作権や、情報漏えいなどのリスクもあるが、効果的な学びにとって、使い方次第で有用なものであると思われるので、アプリの開発も含めて、県議会としても、国や県の動向を注視するとともに、十分な議論をしていく。</p>	<p>教育警察常任委員長</p>

学校名 質問項目	質問の概要	答弁の概要	答弁者
津工業 高等学校 『一人一台端末を使った学習環境の改善について』	<p>全校生徒へのアンケート調査の結果、1人1台端末の日常使用について、4つの問題意識を持った。</p> <p>1つ目。登下校時における破損や悪天候での故障、教科書等とあわせた重量など、持ち運びの負担が大きい。</p> <p>2つ目。中学校では校舎内に保管・充電ボックスがあり学校で管理されていたが、高校では自己管理であり学校内で充電ができず困ることがある。</p> <p>3つ目。端末を使用することが目的化してしまい、数学の平方根やグラフなどノートやプリントのほうが有効な学習まで端末が使用され、学習の効率が悪いと感じる時がある。</p> <p>4つ目。教員が急速なICT化に対応できず端末を使った学習を上手く導入できていない。自宅学習でも利用が進んでいない。端末内のアプリ活用方法の理解不足やトラブルの対応など、授業や課題で端末を使うことが教員・生徒ともに負担になっている。</p> <p>以上のことから、<u>学校に端末の充電・保管ボックスを設置すること、県内の各学校に対して1人1台端末を用いた学習環境に関する意識調査を実施して県政に反映することを強く要望する。</u></p>	<p>GIGAスクール構想で1人1台端末を整備した狙いには、端末を学校と家庭で切れ目なく使用することで、学習習慣の定着と学習内容の理解向上を図ることもある。学校に充電・保管ボックスがあれば、持ち運びの負担がなくなり、充電などの利便性が高まるが、端末を活用した自宅での学習機会が失われる。</p> <p>今回の現場の高校生の生の声を受けて、端末の充電・保管ボックスの設置の必要性も含め、端末がより活用されるよう、常任委員会などでしっかりと議論していきたい。</p> <p>令和6年3月に策定した「三重県教育ビジョン」には「ICTを活用した教育の推進」を掲げている。ICT環境の整備を進めていくためにも、実際に使用する高校生や教員の意見は、非常に大事な視点と考える。</p> <p>今回、各学校の1人1台端末を用いた学習環境に関する意識調査を実施することの提案があった。生徒の皆さんや教員が端末を効果的に活用できる環境整備のために、学校現場の意見を吸い上げる方法も含め、議会でもしっかりと議論していきたい。</p>	教育警察常任委員長